

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
708	フランス文学演習 <French Literature>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
フランス文学	加藤 靖恵(Kato Yasue)		後期	木曜：3限
講義題目 Title	ラシーヌ『フェードル』読解			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	毎回綿密な予習が必要である。			
授業の目的 Purpose	ボワローの『詩法』の精読を通して、フランスの文学や文化への知識と理解を深めるとともに、文学作品を鑑賞するためのフランス語力を習得する。 The purpose is to learn to read French in correct pronunciation, while the training Translate to correct Japanese, to analyze Art poétique de Boileau, and deepen the knowledge of the French literature and French culture.			
授業の内容 授業の方法 Content	ボワローの『詩法』を精読し、17世紀フランスの伝統的な詩法について解説する。さらに、ラフォンテーヌの寓話、ラシーヌの戯曲等、当時の韻文作品の抜粋を読み、古典主義文学のフランスの魅力についての理解を深める。 第1回：オリエンテーション 第2回：ボワローの人と作品 第3回：17世紀のフランスの社会と文化 第4回：古典主義文学の規則と特徴 第5回：詩の伝統 古代ラテン語詩と古代ギリシア詩 第6回：プレイヤッド派の遺産と17世紀の詩 第7回：17世紀の韻文作品について（特に戯曲） 第8回：ボワローと同時代の詩人たち 風刺詩のあり方 第9回：ボワローの詩論 簡潔さの理想 第10回：ボワローによる詩の原則 音の美しさと規則の必要性 第11回：ボワローの詩作品読解 第12回：コルネイユ、ラシーヌ 詩の規則と逸脱 第13回：ラフォンテーヌ 『寓話』読解 第14回：ボワローの理論の後世への影響 第15回：総括 レポート試験			
教科書 テキスト Textbooks	Boileau, Art poétique (GF-Flammarion) その他プリント配布			
参考書 References	授業中指示する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	講読の演習なので、毎回十分に準備すること。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	平常点（授業の最後の小レポート）70% レポート試験30%			

連絡方法  
Contact  
information

[ykato@lit.nagoya-u.ac.jp](mailto:ykato@lit.nagoya-u.ac.jp)